

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(令和3年9月30日)

事業コード	R3-建-継-07		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防事業		班 名	砂防・防災班 (tel)018-860-2518
路線名等	滝ノ沢2ほか3溪流		担当課長名	河川砂防課長 田森 清美
箇所名	由利本荘市赤田		担当者名	主幹(兼)班長 由利 一
プランとの 関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名	災害に備えた強靱な県土づくり
	指標コード	03	施策目標(指標)名	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	H29~R6 (8年)	総事業費	9.1億円	国庫補助率	50.00																																																																	
事業規模	砂防えん堤工 N=5基																																																																					
事業の立案 に至る背景	<p>当溪流は由利本荘市赤田地内に位置し、保全対象として人家及び、県道本荘岩城線(避難経路)、公民館、寺院を抱える土石流危険溪流である。平成25年7月13日の梅雨前線に伴う集中豪雨により、当溪流では山腹崩壊・溪岸侵食が進行し、保全人家間近まで土砂が流出する被害が発生している。流域内は荒廃が進行し、不安定土砂や倒木が堆積しており、再度土石流が発生した場合、人家等に甚大な被害が発生する恐れがある。</p> <p>本事業は、土砂災害から地域住民の生命・財産を保全し、安全・安心な地域を創出するため、砂防設備の整備により土石流災害の防止を図るものである。</p>																																																																					
事業目的	<p>【主たる目的】 砂防設備の整備により、下流にある人家や重要公共施設を保全し、安全・安心な地域の創出を図る。</p> <p>【保全対象】 人家16戸、県道本荘岩城線(避難経路)L=590m、公民館2戸、寺院1戸</p>																																																																					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>705,000</td> <td>911,500</td> <td>206,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>518,000</td> <td>641,200</td> <td>123,200</td> <td>詳細設計によるえん堤構造の変更及び地盤改良による増</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>35,000</td> <td>35,300</td> <td>300</td> <td>補償面積等の精査による増</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>152,000</td> <td>235,000</td> <td>83,000</td> <td>詳細設計、地質調査等による調査設計費の増</td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>352,500</td> <td>455,750</td> <td>103,250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>317,200</td> <td>410,100</td> <td>92,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>35,300</td> <td>45,650</td> <td>10,350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>本工事 詳細設計 測量調査 用地補償</td> <td>本工事 詳細設計 測量調査 用地補償</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費	705,000	911,500	206,500		経費					内訳					工事費	518,000	641,200	123,200	詳細設計によるえん堤構造の変更及び地盤改良による増	用補費	35,000	35,300	300	補償面積等の精査による増	その他	152,000	235,000	83,000	詳細設計、地質調査等による調査設計費の増	財源内訳					国庫補助	352,500	455,750	103,250		県債	317,200	410,100	92,900		その他					一般財源	35,300	45,650	10,350		事業内容	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償		
	前回評価	今回評価	増減	理由等																																																																		
事業費	705,000	911,500	206,500																																																																			
経費																																																																						
内訳																																																																						
工事費	518,000	641,200	123,200	詳細設計によるえん堤構造の変更及び地盤改良による増																																																																		
用補費	35,000	35,300	300	補償面積等の精査による増																																																																		
その他	152,000	235,000	83,000	詳細設計、地質調査等による調査設計費の増																																																																		
財源内訳																																																																						
国庫補助	352,500	455,750	103,250																																																																			
県債	317,200	410,100	92,900																																																																			
その他																																																																						
一般財源	35,300	45,650	10,350																																																																			
事業内容	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償	本工事 詳細設計 測量調査 用地補償																																																																				
事業の進捗 状況	<p>全体計画 9.12億円 令和2年度末投資額 3.31億円 進捗率 36.3%</p> <p>砂防えん堤1基(滝ノ沢5)が完成しており、令和3年度より滝ノ沢2砂防えん堤工事に着手している。砂防えん堤3基(牛寺沢1、滝ノ沢4)についても調査設計を進め、事業の進捗を図る。</p>																																																																					
事業推進上の課題	特になし																																																																					
関連する計画等	「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本的な政策として「県土の保全と防災力強化」が位置づけられている。																																																																					
情勢の変化及び長期継続の理由	特になし																																																																					
事業効果把握の手法及び効果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">土石流危険溪流に対する概成率(%)</th> <th>低減指標の有無</th> <th>○有 ●無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="2">対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td colspan="2">○ 成果指標 ● 業績指標</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">17.7%</td> <td>データ等の出典</td> <td>河川砂防課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">17.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">96.6%</td> <td>把握の時期</td> <td>令和3年3月</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	土石流危険溪流に対する概成率(%)		低減指標の有無	○有 ●無	指標式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)				指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標				目標値 a	17.7%		データ等の出典	河川砂防課調べ	実績値 b	17.1%				達成率 b/a	96.6%		把握の時期	令和3年3月																																			
指標名	土石流危険溪流に対する概成率(%)		低減指標の有無	○有 ●無																																																																		
指標式	対策済み溪流数/土石流危険溪流数(%)																																																																					
指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標																																																																					
目標値 a	17.7%		データ等の出典	河川砂防課調べ																																																																		
実績値 b	17.1%																																																																					
達成率 b/a	96.6%		把握の時期	令和3年3月																																																																		

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	土石流危険渓流が集中する区域であり、各渓流で山腹崩壊や溪岸侵食による荒廃が進み、溪床には多くの不安定土砂や倒木が堆積していることから、土石流発生危険性が非常に高い。 土石流が発生した場合、人家のみならず、県道本荘岩城線 (避難経路) が被災し、赤田地区等の住民が避難所へ移動することが困難になるため、事業の必要性は高い。	17点
緊 急 性	平成25年7月の豪雨により、土砂流出が発生しており、流域内には多くの不安定土砂や倒木が堆積している。今後の豪雨等により、再度土砂災害が生じる恐れがあるため、早急な整備が必要である。	30点
有 効 性	砂防設備の整備により、多数の人家や公共施設を保全することができるため、有効性が高い。	10点
効 率 性	事業の費用便益比は1.84であり、効率性は高い。 また、残存型枠工による施工など、コスト縮減に対して積極的に取り組んでいく。	18点
熱 度	平成25年7月の豪雨による土砂流出を受け、地元住民の防災意識も高く、当該事業における合意形成がとれている。由利本荘市においても土砂災害等への危機管理意識が高く、事業への必要性を認識している。	15点
判 定	ランク (●I ○II ○III)	90点
	土砂災害から人命・財産を保全するには砂防事業が最適であると判断できるため、引き続き事業の継続が必要である。	
総合評価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止	
	事業の継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (R3-建-継-07)
箇所名 (由利本荘市赤田)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	災害発生時の影響 (被害想定)	人家戸数	20戸以上	10	7	人家16戸
			5戸～19戸	7		
			1戸～4戸	3		
			0戸	0		
	公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 要配慮者利用施設 重要交通 (緊急輸送道路、避難路、鉄道) 防災拠点 (警察、消防、役場等) ライフライン施設 (電力、ガス、水道等)	公共・公益施設がある	5	10	県道本荘岩城線 (避難経路、バス路線) 公共・公益施設 (赤田下公民館、東光館、赤田の大仏)
			なし	0		
			計	20		
緊急性	災害実績					
	過去の災害発生履歴	過去の災害発生履歴あり	5	5	平成25年7月の梅雨前線豪雨により土石流が発生し、保全人家裏まで土砂が到達した	
		なし	0			
	災害発生危険度					
	想定される流出土砂量	1000m ³ 以上	10	10	計画流出土砂量5,153m ³	
		1000m ³ 未満	5			
	想定される流出流量	20m ³ 以上	10	10	計画流出流量28m ³	
		20m ³ 未満	5			
	荒廃面積	流域面積の10%以上	5	5	荒廃率10.8%	
		流域面積の10%未満	3			
計			30	30		
有効性	上位計画への貢献					
	第3期ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5		
		プランとは別の個別計画に関連する事業である	3			
		プラン、個別計画に関連しない事業である	0			
	ソフト対策との関連性					
土砂災害警戒区域等の指定状況	土砂災害特別警戒区域に指定	5	5	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定 (牛寺沢1: H21.10.30) (その他: H23.1.14)		
	土砂災害警戒区域に指定	3				
	なし	0				
計			10	10		
効率性	費用対効果					
	B/C	1.0以上	10	10	B/C 1.84	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	残存型枠施工等の利用を検討し、コスト縮減を図る	
		なし	0			
	前回計画との比較					
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	3	29.4%増 (9.12億円/7.05億円)		
	10%以上～30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計			20	18		
熟度	事業の進捗状況					
	今後の進捗見込み	課題はなく順調な進捗が見込まれる	10	10		
		課題はあるが当面の進捗に影響はない	6			
		課題があり、事業の停滞が懸念される	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	5	(R2末)3.31億円/ (計画)9.12億円 =36.3%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
計			20	15		
合計				100	90	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上		
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		